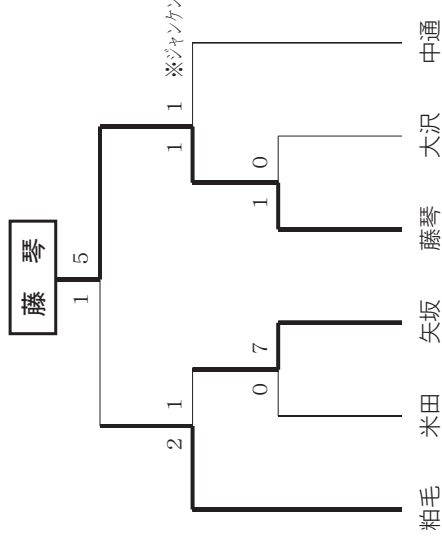


粕毛、中通、矢坂、米田からそれぞれチームが参集。観戦を楽しみに訪れた観客で球場が埋め尽くされ、選手達は晴れ渡った空の下、白球を追いかけました。



【最優秀賞】

- ・菊池康平さん (藤琴・幸町)

【取組賞】

- ・市川勇樹さん (粕毛・朝日ヶ丘団地)



どの試合も好ゲームでした



関取と握手し元気な笑顔



決まり手はおしり出し？



記念の一枚

◆ 藤里町に豪風関がやってきました ◆

7月30日、北秋田市出身の「豪風関」が藤里町を訪れ、特別養護老人ホーム藤里への訪問や、総合開発センターでのトークショー、藤里小学校土俵で小学校相撲部の直接指導などを行いました。

豪風関は、各場所終了後など帰郷した際に、福祉施設への訪問を積極的に行っており、今回訪れた特養藤里では、利用者からの質問に答えたり、握手や記念撮影に快く応じたりし、お年寄りに笑顔が溢れていました。

また、100人以上の町民が集まった開発センターでのトークショーでは、「体の大きい小さいは関係ない。相撲では小さくても大きくてもそれぞれの取り組み方がある」と、自身が171cmと関取としては大きくないがハンデと思ったことはなく、小さくても大きな子に勝つことはできると小学生へアドバイスしました。その他に「当時は柔道がとても好きで、ずっと柔道をやっていた。しかし、練習が辛くて楽そうに見えた相撲に転向したが、実際は同じくらい大変だった」などの裏話もあり、会場は大いに盛り上がりました。

その後、藤里小学校の土俵で行なわれた実技指導では、準備体操や四股などを指導し、小学生や藤小相撲部OBに胸を貸した稽古では、相手に合わせたコミカルな動きや、関取らしい力強い姿にギャラリイは大満足の様子でした。

みんなのわだい

《雑学風味》「食パン」

食べ物のパンをわざわざ「食パン」と呼ぶのは少しおかしいですが、画家がデッサンの際、消しゴム代わりに使う「消しパン」と区別する必要があったため、食用のパンを「食パン」と呼ぶようになった説が有力だそうです。